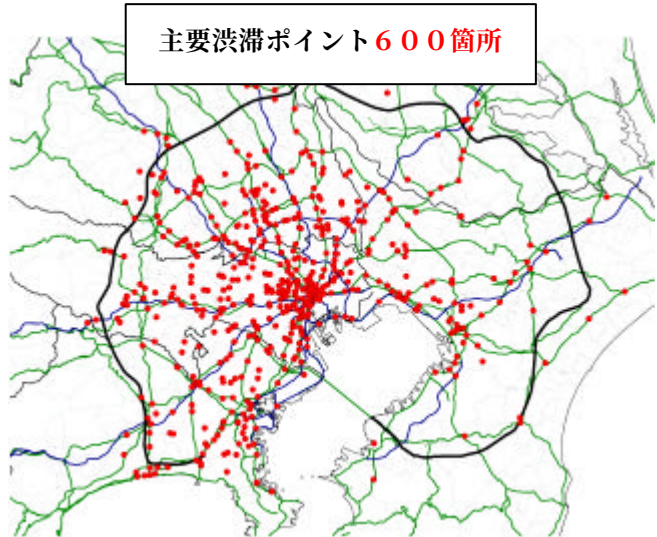


5. 道路整備の効果

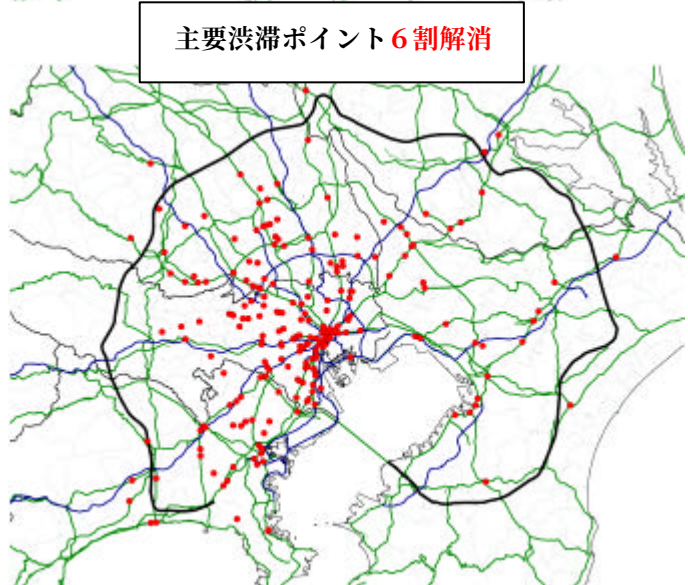
(1) 三環状九放射の道路ネットワークの形成 及び首都圏の交通円滑化

環状道路の整備により、主要渋滞ポイントは概ね解消し、円滑な交通が確保され、年間約4兆円の効果が期待できます。

現在



平成19年度までに供用予定

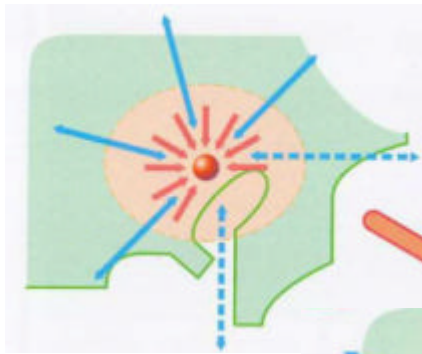


完成



主要渋滞ポイント概ね解消

- (2) 沿線都市間の連絡を強化し、沿線の地域づくりの支援、活性化
横浜市や川崎市、つくば市、成田市、木更津市といった中核都市
を連絡・連携を強化することにより、各中核都市間の移動時間が大
幅に短縮され、沿線地域において企業立地・市場拡大・生産活動等
の活性化が図られ、活力ある地域が形成されます。



川越駅前



筑波研究学園都市



新東京国際空港



みなとみらい21
写真提供/横浜市



かずさアカデミアパーク

(3) 各区間の整備効果

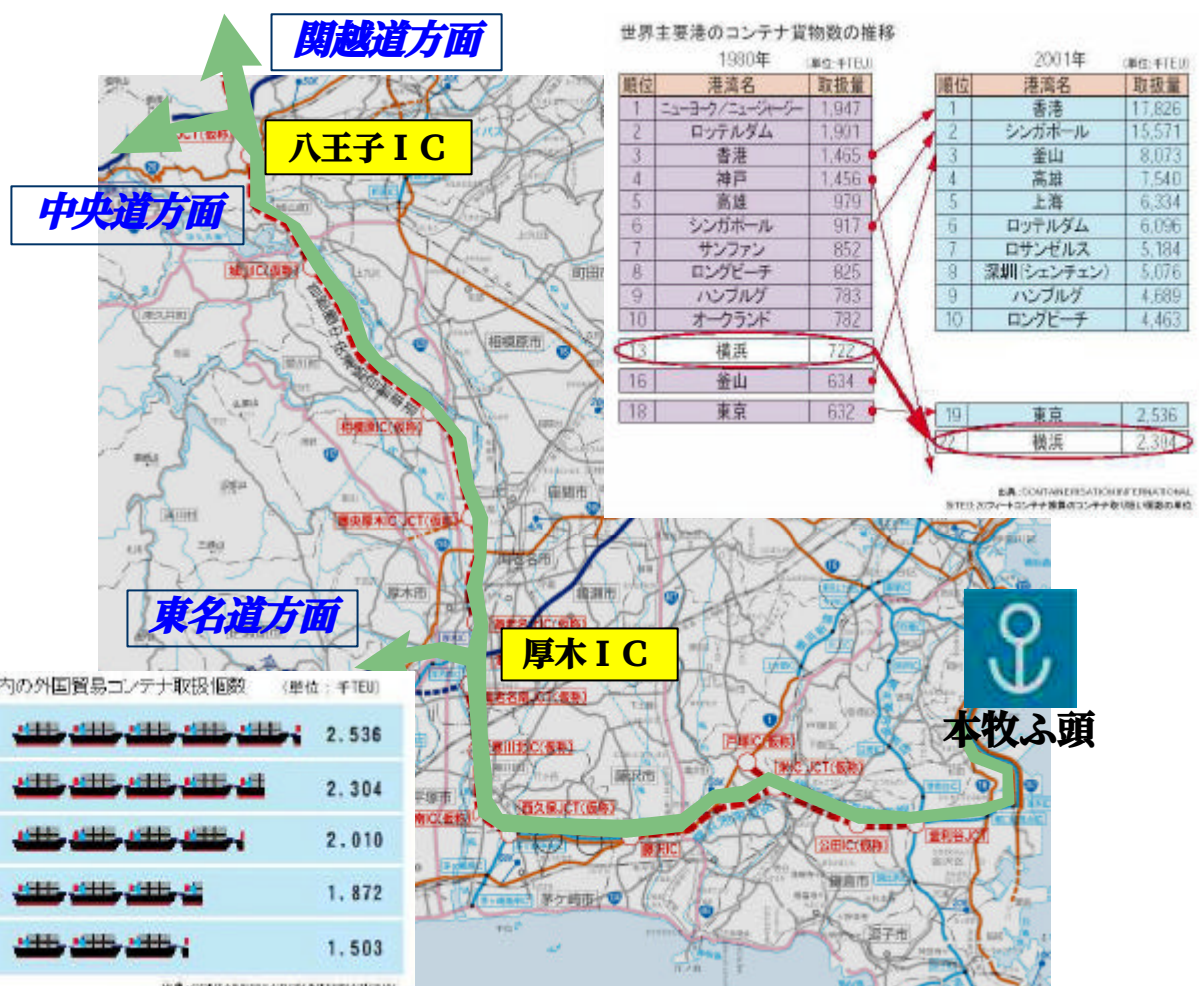
①神奈川県区間の効果

<横浜港の国際競争力向上>

横浜港は首都圏有数の貨物の取り扱い量を誇る特定重要港湾であり、同港で水揚げされた貨物は、圏央道経由が想定される東名道、中央道、関越道方面に月当たり約31万トンと、神奈川県外に搬出される貨物量（月当たり約96万トン）の3分の1を占めています。

同港は昭和55年、外国貿易コンテナの取扱量個数が国内2位、世界でも第13位でした。近年、アジアの他国の躍進に押され、平成14年は国内2位を維持しているものの、アジアで7位、世界では22位まで落ち込んでいます。

圏央道の整備は、同港からの貨物輸送の能力をアップし、国際競争力の復活を支援します。



■横浜港本牧を起点とした場合の首都圏方面への時間短縮効果

○東名自動車道方面 本牧 → 厚木IC		○中央自動車道方面 本牧 → 八王子IC	
既存道路経由	46分 (34.1km)	138分 (67.2km)	
圏央道経由	33分 (44.1km)	50分 (73.0km)	

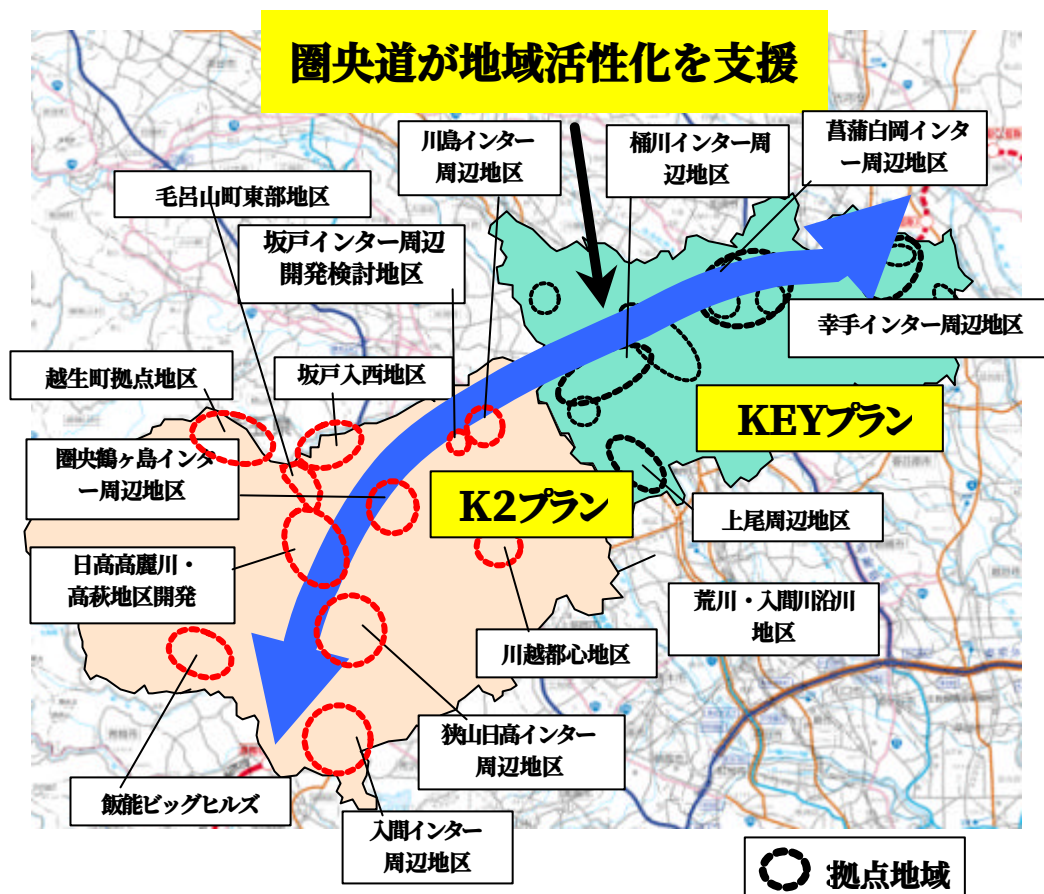
注) 既存道路経由は混雑時旅行速度 (H11 センサス) に基づく

②埼玉県区間の効果

<地域振興の支援>

圏央道（埼玉県区間）沿線には、地域開発計画（K2プラン・KEYプラン）が計画されており、供用区間（青梅IC～鶴ヶ島JCT）においては、すでに面開発事業が進行しています。

今後も、圏央道と一体となって、地域整備が進められ、埼玉県内の地域振興を支援するものと期待されます。



飯能ビッグヒルズ 住居)



入間市武蔵工業団地

③茨城県区間の効果

<物流効率化の支援（茨城県総合物流計画）>

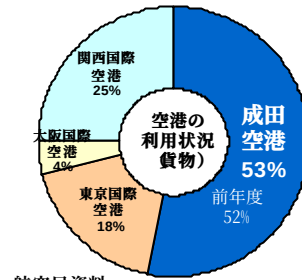
現在、国際貨物・国内貨物の半分以上は、成田空港において取扱われ、その量は増加傾向にあります。つくば市のつくば国際貨物ターミナル（TICT）は、成田空港等に発着する国際航空・海上貨物輸送の通関手続きを行うことが可能です。

単位：千トン



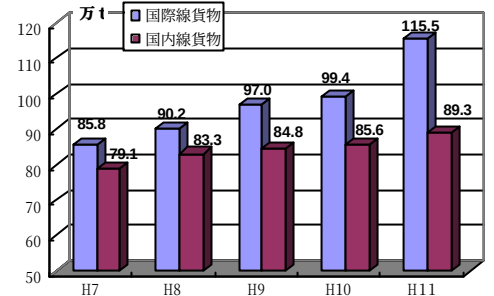
資料：ICAO 統計(2001年)

図 世界の空港国際線ランキング 空港貨物量



航空局資料

図 空港の利用状況（貨物）



空港輸送統計年報

図 貨物輸送実績の推移

事業区間の整備によって、つくば市から成田空港までの所要時間は、現在の80分から40分（約40分短縮）となり、今後のさらなる物流の効率化が期待できます。

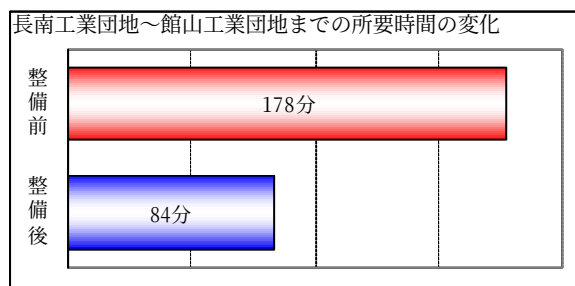


＜房総半島の地域振興支援＞

アクアラインや東関道館山線とともに幹線道路ネットワークを形成し、円滑な交通が確保されます。

外房へのアクセス性が向上することで、対岸の神奈川県から半島各地への所要時間が短縮し、豊かな自然環境や地域資源などに恵まれた首都圏近郊のリゾートである南房総において周遊性の高い快適な観光・レジャーが可能となります。

また、交通基盤の確保により、立地誘導・地域活性化の支援が期待され、**かずさアカデミアパーク**へのアクセス性向上による国際的な研究開発都市の形成・発展への寄与や、関東東部の拠点として位置づけられている**長生・山武拠点都市**を結び地域発展への貢献が期待されます。



写真：かずさアーク



写真：かずさDNA研究所

